

あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま



広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2023

10

NO.854



ひとのうごき

人口 4,320人 (-17)
男 2,180人 女 2,140人

世帯数 2,125世帯 (-10)
9月30日現在 ()内は前月比

- 2 ひとのうごき
- 3-4 北海道胆振東部地震厚真町追悼式
- 5 町からのお知らせ
- 6-7 令和5年 第3回定例会
- 8-10 まちの話題
 - 11 防災のページ
 - 12-13 保健の掲示板
 - 14 健康情報
 - 15 子育て支援センター
まちのアイドル
住宅用火災警報器を設置しましょう
 - 16 厚高インフォ/よりみち通信
 - 17 将来の夢/地域おこし協力隊
- 18-19 情報ひろば
- 20 ATSUMA LOVERS

9月1日~30日届出分

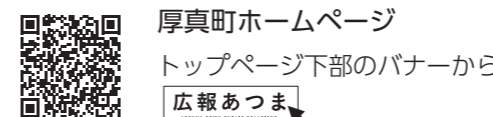
※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています！

広報あつまはインターネットでも！



厚真町ホームページ

トップページ下部のバナーから

広報あつま

Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



北海道胆振東部地震 厚真町追悼式

令和5年北海道胆振東部地震厚真町追悼式

胆振東部地震犠牲者之室

北海道胆振東部地震から5年を迎え、総合福祉センターで9月2日に北海道胆振東部地震厚真町追悼式が行われました。来賓を含め参列した260人は、犠牲となった37人をしのんで哀悼の意をささげるとともに、復興から創生に向けた町づくりへの決意を新たにしました。

新型コロナウイルス感染症の規制が緩和され、会場は大集会室と青年室の2会場が設けられ、青年室には大集会室の式典の様子が放映されました。宮坂町長が式辞を述べ、鈴木知事から来賓が追悼の辞を述べた後、参列者は、祭壇に白菊を手向け、5年の歳月を振り返りながら犠牲者のご冥福を祈りました。



厚真町をはじめ、被災地が一日も早い復興を成し遂げ、住み慣れたまちで暮らしていけるように不安や課題の解決、地域に寄り添った取り組みを進めるとともに、記憶が未来に引き継がれることを誓います。



北海道 鈴木直道知事

時を経てもなお最愛のご家族やご友人を失われた方々の無念さは決して尽きることはありません。地震からの復旧・復興にまい進するとともに、『挑戦を諦めない町』として未来創生と持続的発展に向けた歩みを町民一丸となって進めて行きます。



厚真町 宮坂尚市朗町長

式辞・追悼の辞

大切なものを失って、ようやく伝え備えることの大切さを学びました。皆さまが大切にしてきた厚真を取り戻し、犠牲になられた皆さまへの思いを含め、災害の記憶と教訓、そして日ごろの備えの大切さを風化させることなく後世に継承することを誓います。



遺族代表 畑島武夫さん

震災に思いを巡らせながら、犠牲になられた方々を追悼する気持ちや、防災・減災につなげていくべき教訓は、決して風化させることなく次世代に伝えなければなりません。被災された方々に寄り添い、まちづくりに全力で取り組みます。



厚真町議会 渡部孝樹議長

COVER 今月の表紙



上厚真パークゴルフ場には、楽しい声が響きます。プレーに一喜一憂する声、孫の自慢話も聞こえてきました。ラウンドを終えた夫婦は「ナイスプレー。楽しかったね」と笑顔で互いをたたえました。

ヒグマ講習会

産業経済課 林業・森林再生推進グループ ☎ 27-2419

専門家とともにヒグマの生態や対応などを学ぶ講習会を開きます。

今年に入り、住宅地のそばなどでもヒグマの目撃情報などが多く寄せられています。幸い人的被害は発生していませんが、不慮の事故への懸念はぬぐえません。

専門家とともにヒグマの生態や対応などを学ぶ講習会を開きます。肩の力を抜いて、一緒に知恵を磨きましょう。

日時 10月25日(水)
18時30分～20時(18時受付)
場所 総合福祉センター 2階青年室
参加費 無料

町高齢者共同福祉住宅入居者募集

建設課 都市施設グループ ☎ 27-2325

高齢者共同福祉住宅(京町団地)の入居者を募集しています。

入居条件

▷申込資格(いずれかに該当)

- ・60歳以上の単身、または夫婦世帯
 - ・障がい者の単身、または夫婦世帯
- ※夫婦の場合はどちらかが該当すれば可

▷入居要件(すべてをみたと)

- ・要支援・要介護の認定を受けておらず、自立して生活できる
- ・世帯所得が月214,000円以下(収入ではありません)
- ・税金など公的支払に滞納がない
- ・暴力団関係者ではない
- ・室内外で動物を飼育しない
- ・そのほか、公営住宅の入居要件を満たす

費用

▷入居者が負担する費用

- ・敷金(家賃の2カ月分)
 - ・電気、水道、下水道等使用料
 - ・ごみなどの処理費用
 - ・緊急通報装置の設置に伴う電話回線開通工事費および電話料
 - ・部屋、設備などを破損した場合の修繕費
- ▷家賃
- ・月額13,500円～26,600円(所得に応じて変動)
 - ・廊下照明などの共益費(月額1,000円)
 - ・生活援助員の派遣に要する費用

募集

毎月2回(15日、末日) ※戸数に達し次第締め切り

必要書類

入居申込書、住民票、所得証明書、納税証明書

弁護士による無料法律相談会

総務課 総務人事グループ ☎ 27-2322

厚真町と安平町で、札幌弁護士会地域司法対策委員会による「無料法律相談会」を開催します。

	開催場所	
	午前 10時30分～12時	午後 13時30分～15時
10月10日(火)	厚真	早来
10月23日(月)	追分	厚真
11月6日(月)	厚真	早来
11月20日(月)	早来	上厚真
12月4日(月)	厚真	追分
12月18日(月)	早来	厚真
1月9日(火)	厚真	早来
1月22日(月)	追分	上厚真
2月5日(月)	厚真	早来
2月19日(月)	早来	厚真
3月4日(月)	厚真	追分
3月18日(月)	早来	上厚真

○相談料は無料です

※実際に依頼する場合の弁護士費用は、相談弁護士にお問い合わせください。

○相談される場合は、事前に予約してください

※予約をせずに直接会場にお越しいただいても、先約があってお待ちいただく場合や受けられない場合もありますのでご了承ください。

会場のご案内

厚真 ▷ 総合福祉センター 談話室
京町165-1

上厚真 ▷ 上厚真支所 小会議室
上厚真219-1

早来 ▷ 安平町保健センター
安平町早来大町95

追分 ▷ 安平町ぬくもりセンター
安平町追分中央1-40



町の未来を願って熱唱する小寺聖夏さん



厚真町への想いを歌い上げる半崎美子さん

半崎美子さんからのメッセージ

厚真町の皆様にとっての5年という歳月、その大切な歩みの中で、復興応援ソングという形で、私に楽曲の制作を託して下さったこと、あらためて感謝の気持ちと共に、導かれるように書かせていただきました。

皆様、お一人お一人の5年の歩みはそれぞれで、環境も心境も違うからこそ、前へ進もうとか立ち上がろうということではなく、普遍的な希望の歌にしたいと思いました。

この地に息づく希望の手がかりは自然が蘇生する姿であり、それは茶色く崩れた山肌に緑が戻る姿、田畑が回復する姿、黄金色に実る稲穂そのものであると感じました。

町民の皆様の生活と深く関わるそれは希望であり、時間はかかっても自然は必ず戻ってくると厚真の人達は知っているからこそ、日々を、未来を、耕し続けることができるのだと。

「私達はあきらめない」という宮坂町長の力強い言葉。

「献歌」は、犠牲者への鎮魂と復興への願いを込めた音楽による追悼式です。厚真町出身の小寺聖夏さんと、震災後町に通い続けている半崎美子さんが、総合福祉センターで魂の歌声を届けました。ステージは、静かに始まりました。白菊などで飾られた祭壇にそっと目を閉じた小寺さんは、支え合いながら前向きに生きる町民の姿を歌詞に託した「羽」などを熱唱しました。

半崎さんは、この日に合わせて作詞・作曲した「大地の息吹」を初披露しました。町民との出会いや景色の移ろいなどを歌詞やメロディーに重ねました。心のこもった2人の楽曲は、大勢の来場者を魅了しました。ステージ終了後、町は半崎さんに「アマラバース アンバサダー」を委嘱しました。町民との交流促進や厚真の魅力発信に努めていただきます。

その言葉に、皆様の強く結ばれた繋がりや自然との共生を思い、「穂」や「歩」を歌詞に入れました。

そして束の間には咲く、小さな稲の花もまた希望の息吹であると。小さなお子様からご年配の方まで、町の皆様に歌っていただけるようシンプルな歌にしました。

これまでの5年、そしてこれからの厚真の皆様と、明日への歩みを共に。



委嘱状を手に応援を約束する半崎美子さん



選挙

◆厚真町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙
地方自治法第182条第1項および第2項の規定により、厚真町選挙管理委員会委員および同補充員の選挙が行われました。地方自治法118条の規定により選挙委員からの指名推薦があり、選挙結果のとおり次の方々に決定しました。

【厚真町選挙管理委員会委員】
大浦真則さん（上厚真）、畑嶋賢蔵さん（東和）、高田雅晴さん（共和）、矢部励さん（豊丘）

【厚真町選挙管理委員会委員補充員】
秋永晴美さん（富里）、山本隆司さん（幌内）、桐木洋光さん（軽舞）、上田輝美さん（上厚真）

同意

◆厚真町教育委員会委員の任命
厚真町教育委員会委員に池川徹さん（表町）が任命されることが同意されました。

◆自治功労表彰
元農業委員会委員の日西善博さん（表町）の自治功労表彰が同意されました。

議案

◆厚真町墓地使用条例の一部改正
◆厚真町特別工業地区建築規制条例の一部改正
◆新町地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事（その5）請負契約の締結
◆財産の取得…インターネット閲覧

サーバー

◆財産の取得…学校給食センター厨房機器
◆令和5年度厚真町一般会計補正予算（第8号）
令和5年度厚真町一般会計補正予算（第8号）は、歳入歳出それぞれ1億5203万4千円が追加され、歳入歳出予算の総額はそれぞれ100億7861万1千円となりました。補正された主要事業は次のとおりです。（千円以下切り捨て）

- ・庁舎周辺等整備事業（地盤調査委託料、3300万円）
- ・ゼロカーボン推進事業（390万円）
- ・持続的畑作生産体系確立支援事業（165万円）
- ・小規模土地改良事業（700万円）
- ・森林再生・林業復興整備事業（1680万円）
- ・庁舎周辺等整備事業（文化交流施設解体設計委託料、800万円）

報告

◆定期監査の結果報告
◆現金出納例月検査の結果報告
◆教育委員会の事務事業の点検・評価報告
◆令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

承認

◆専決処分承認（令和5年度厚真町一般会計補正予算（第7号））
◆専決処分の承認（令和5年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定（第3号））

認定（付託）

◆令和4年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定
◆令和4年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
◆令和4年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
◆令和4年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
◆令和4年度厚真町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
◆令和4年度厚真町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

意見書

◆「再審法（刑事訴訟法の再審規程）」の改訂を求める意見書
◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

議会

令和5年 第3回定例会

令和5年 第3回町議会定例会が9月12、13日の2日間の会期で開かれました。選挙1件、令和5年度一般会計補正予算など議案9件、報告8件、同意2件、承認2件が審議され、いずれも原案通り可決・承認されました。また、認定6件は決算特別委員会に付託され、閉会中に継続審査されます。さらに、意見書3件が提出され、採択されました。

行政報告

【水稲】

胆振農業改良普及センター東胆振支所が調査した農作物の生育状況によると、水稲は、は種から移植期まで日照時間、気温は良好に推移し、苗の生育は平年並でした。移植作業は概ね順調に進み、東胆振全体では平年並の5月30日に終了しています。分けつ始は6月8日と平年より2日早く進みまし。6月から7月にかけて高温多照で生育が促進され、7月1日時点の1㎡当たり茎数は平年比140%、幼穂形成期で7月2日と平年より4日早く生育が進みました。出穂期は7月26日と平年より6日早く経過しています。8月も高温で推移したため、成熟期及び収穫期も平年より早くなると推定されます。また、稔実調査による不稔率は、冷害危険期も高温傾向で推移したため、中苗「なつばし」で6.1%（平年値7.4%）程度と1.3%低くなっています。一方、出穂期間が高温で経過したため、品質低下が懸念されます。

農林水産省が発表した8月15日現在の本年産水稲の作柄概要では、北海道は「やや良」となっています。全国では「やや良」が5道県、「平年並」が34道府県、「やや不良」が7県となっています。なお、東日本を中心とした早場地帯の作柄は、概ね「平年並」から「やや良」と発表されています。

このまま、高温で推移すると成熟期

が早まることが予想され、収穫作業も平年より約1週間程度早くなると推定されるそうです。

【秋まき小麦】

秋まき小麦は、昨秋が温暖に経過し越冬前の生育量が十分に確保されました。雪解けが早く進んだため起生期は平年より4日早くなり、4月以降は高温で推移し、幼穂形成期は4月27日、出穂期は6月1日となり、生育は平年より2日早く推移しました。6月中旬から収穫前までは高温少雨で経過し、成熟期を7月16日に迎えました。収穫作業は降雨予報で早まり、平年より7日早く終了しました。登熟日数は45日と平年並で、粗麦重量は平年並となる見込みです。

8月31日現在の調製状況（厚真地区分）では、秋小麦の受入重量は1472トンで、等級麦は1339トン（約91.0%）を見込んでいます。また、春小麦の受入重量は998トンで、等級麦は878トン（約88.0%）を見込んでいます。

【ジャガイモ】

ジャガイモは、植付作業が平年並に進み、萌芽も5月16日と平年並みになりました。病害虫の発生は少なく、高温多照により生育は平年よりやや早く進みました。開花期は6月18日、莖葉黄変期は7月29日に迎えています。収穫作業は8月上旬から始まり、順調に進んでいます。7月下旬の坪掘調査では、1株あたりの数はやや多く、でん

粉含量も平年並みです。

【大豆】

大豆は、は種が平年並に終了し、出芽後は寡照傾向で経過したものの、生育期間中の高温により、草丈がやや短く推移しました。その後、気温は高めに移り、開花期は平年並の7月15日に迎えています。現在、草丈、葉数は平年並、さや数は平年より多くなっています。

【小豆】

小豆は、は種および出芽期はともに平年並みに進み、その後の高温多照により生育が進み、開花期は平年より5日早い7月19日に迎えています。平年に比べ草丈は長く、葉数はやや多く、さや数は少なく推移しています。

【野菜園芸】

そ菜園芸では、ホウレン草は、5月6月は病害虫の被害もなく生育も良好で潤沢に出荷が続いていましたが、8月からの高温の影響によりマダラ症やトロケ等が発生して製品率が低下し、生育停滞や発芽後の焼けにより出荷量が減少しています。価格は平年よりやや高値で推移しています。

カボチャは、定植作業は順調に進みましたが、5月下旬からの曇天・低温で生育は緩慢となり停滞傾向でした。6月下旬からの好天で生育は回復し、着果も良好でしたが着果数が多い場合は小玉傾向となりました。また、8月からの高温の影響で、後作のカボチャは品質低下が懸念されます。価格は平

年よりやや高値で推移しています。

ブロッコリーは、高温の影響により軟腐病・奇形・花蕾のゆるみ等の発生が増加し製品率が低下しています。ほ場でも収穫前の腐敗が発生しており出荷量が減少しています。生育は良好で、1.2作分前倒しの出荷状況です。価格は、7月に道内の各産地が出荷のピークとなり、やや安値で推移しましたが、現在は平年並みの価格で推移しています。

花きは、7月中旬以降の好天により前進開花となり草丈は短く製品率は低下しています。8月は高温の影響で防除ができず、害虫の発生や色抜け、草丈も短く品質の低下が見られます。ハスカップは、5月上旬まで好天が続き花芽が多く生育良好でしたが、開花時期の5月中旬からの低温により着果がばらつき生産量は平年並みとなりました。

近年は、7月中旬から高温が続く傾向にあり、気象変動が大きい年が続いています。また、コロナ禍やウクライナ侵攻に端を発した肥料や飼料などの農業生産資材の高騰は依然として高い水準にあり、農業経営にも影響が出ています。関係機関と連携して的確に対応するとともに、収穫作業の最盛期を迎えるにあたり、農作業事故に十分注意されるよう生産者への呼びかけを強化します。



中央小の児童がサーフィン体験

ふるさと教育の一環として中央小学校の4年生24人が8月22日、浜厚真海浜公園でサーフィンを体験しました。

地域に根付くスポーツの体験を通して、郷土愛やふるさとへの理解を深めてもらうため、地元のインストラクターの協力のもとで毎年、体験教室を開いています。

砂浜に集まった児童は、手伝ってもらいながらウエットスーツに着替え、浜辺でサーフボードに立つための一連の動作を確認。板に乗る位置や、両手を使ったバランスのとりの方法を教わると、海に繰り出して波乗りに挑戦しました。

すぐにバランスを崩して海中に倒れていた児童も、何度か繰り返すうちに上達し、手を振る余裕も生まれました。



基本動作を学び、サーフィンを体験する児童

厚真町戦没者追悼式



式辞を述べる宮坂町長

厚真町戦没者追悼式が8月25日、総合福祉センターで営まれ、出席した40人は戦禍で犠牲になった118人を悼み恒久平和を願いました。

宮坂町長は「胆振東部地震を経験した私たちは、だれよりも命の大切さを知っています。私たち世代が、次の世代に平和の尊さを引き継がなければなりません」と式辞を述べ、来賓の北海道知事代理、渡部町議会議長、一般財団法人北海道連合遺族会が「戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させてはならない」と誓いの言葉を述べました。また、町遺族会の加勢敏和会長は「史実を後世に語り継ぐことが私たちの使命。慰霊の追悼と検証を継続したい」と謝辞を述べました。

鶴川漁協厚真支所がホッキ貝を寄贈

鶴川漁業協同組合厚真支所・ホッキ部会の西館純之部会長は9月5日、町教育委員会に浜厚真産の殻付きホッキ貝約230kgを贈りました。

ホッキ貝の寄贈は、平成22年から毎年欠かさず続けられていて、学校給食で提供されています。今年も、13日に給食センターでホッキカレーに調理され、町内のこども園や小・中・高校で650食が振る舞われました。

西館部会長は「生育は順調で、昨年よりひと回り大きい貝が採れました。甘くて味も濃いので、たくさん食べて欲しい」と話すと、遠藤教育長は「ふるさと教育の面からも、海の幸を味わうことで、厚真の産業や自然への理解を深めています。感謝します」とお礼を述べました。



水揚げしたホッキ貝を遠藤教育長に贈る西館さん

道内の若手神職が 北海道胆振東部地震発災5年慰霊祭

道内の若手神職で作る北海道神道青年協議会は8月17日、総合福祉センターで「北海道胆振東部地震発災5年追悼式」を行い、犠牲者を悼み町の復興を願いました。

協議会は、壊滅的な被害を受けた神社への寄付や苫小牧市で復興祈願祭と慰霊祭を実施。5年の節目に合わせて、最大の被災地の厚真町で慰霊祭を行いました。

総合福祉センターには祭壇が設けられ、町長や議長など来賓を含む25人が出席して神事が行われ、犠牲者に鎮魂の祈りを捧げる「光舞（ひかりまい）」も演じられました。



「光舞」を演じる青年神職たち

「ならやまマルシェ」を初開催



会話が弾み笑顔に包まれたマルシェ

富里地区の厚北地域防災コミュニティセンターならやまで8月19日、初めてとなる「ならやまマルシェ」が開かれました。

主催の住民団体「つむぎ」（村上朋子代表）が、住民手作りによるイベントを通じて、コミュニティの輪を広げようと企画しました。摘みたて野菜の販売や日用雑貨のリサイクル、アロマ体験などのコーナーが設けられました。

会場では、「久しぶり、元気だった」や「新鮮でおいしいそうな町内の野菜が買えるなんてうれしい」、「初めてならやまで運転してきました」など楽しみな会話が広がりました。また、午後からは厚南デイサービスの利用者がマイクロバスで訪問し、かき氷を食べながら地域住民と交流を深めました。村上さんは「これが目指すコミュニティ。さらに交流の輪を広げていきたい」と話しました。

町と町教育委員会が主催する第20回集まりリンピック（第55回町民体育祭）が8月20日、本郷地区のかしわ公園野球場で開催されました。

12自治会やオープン参加など、町民約500人が集まりました。コロナ禍を経て4年ぶりの開催となり、バスケットボール元日本代表の折茂武彦さん、バレーボール元日本代表の成田都久美さん、厚真町で発足した女子サッカーチームのノルディーア北海道、スピードスケート短距離の元五輪代表の鈴木靖さんを特別ゲストに招き、トークショーや競技を通じてたっぷり触れ合いました。

個人や団体など全12種目が行われ、ゲストチームもほとんどの種目に参加し、会場はアットホームな雰囲気になりました。6人1組でチームワークを競う「ムカデ大レースin厚真」では、気持ちが空回りして転倒するひと幕も。また、足自慢を連ねた混合年代別リレーでは、声援を受けながら見事なバトンリレーを繰り広げました。

第20回集まりリンピックを開催



声援を浴びながら三人四脚で力走する選手たち



防災のページ

問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

タイムライン防災について (その4)

マイ・タイムラインとは？

マイ・タイムラインとは、大雨や台風などによって、河川の水位が上昇しこれから起こるかもしれない洪水に備えるため、自分や家族が命を守るために必要な防災行動を時系列に整理した避難行動計画です。

マイ・タイムラインを作成するには、洪水ハザードマップを用いて洪水の危険性を知り、避難するに

は何かが必要で、どのタイミングで避難するのが良いのかを考え、家族間でしっかりと共有しておくことが大切です。

大雨や台風などで川の増水や氾濫しそうなとき、逃げ遅れて被害に遭わないためにも平常時からマイ・タイムラインを作成して、いつ、どのような行動をとれば良いかを準備しておきましょう。

マイ・タイムラインを作る前に考えてみること

■洪水時の基本的な7つの行動を考えてみましょう。

- ①今後の大雨や台風の状況を調べる
- ②避難するときに持っていくものを準備する
- ③住んでいるところと上流の雨量を調べる
- ④川の水位を調べ始める
- ⑤避難しやすい服装に着替える
- ⑥安全なところへ移動を始める
- ⑦避難完了

■家庭の状況をチェックしましょう。

- ①自動車 (例：自動車は高台に移動しておく)
- ②ペット (例：犬はペットホテルに預ける)
- ③持病薬 (例：お父さんの血圧の薬の予備を買いに行く)
- ④避難に支援が必要な人 (例：おじいちゃんの避難準備を始める)
- ⑤親戚など避難を受け入れてくれる場所 (例：いとこに避難に行くことを伝える)

マイ・タイムラインを作ってみる

基本的な行動を理解して家庭の状況をチェックし、それ以外で自分に必要な行動が分かったらマイ・タイムラインを作ってみましょう。

マイ・タイムラインについての動画やパンフレットも参考にしましょう。



紹介動画 パンフレット

住んでいる場所の浸水深 (m) 緊急避難場所など ()

時間の流れ	警戒レベル・周囲の様子		とるべき行動
台風直撃3日前	警戒レベル1	台風が接近	(・このとき何をする ・その他やるべきこと)
台風直撃2日前	警戒レベル2	雨風が強くなる	(・このとき何をする ・その他やるべきこと)
台風直撃1日前		川の水位が上昇	(・このとき何をする ・その他やるべきこと)
台風直撃半日前		川の上流から水が集まる さらに川の水位が上昇	(・このとき何をする ・その他やるべきこと)
氾濫5時間前	警戒レベル3 [高齢者等避難]	河川敷が水没	(・このとき何をする ・その他やるべきこと)
氾濫3時間前	警戒レベル4 [避難指示]	川の水があふれそう	(・このとき何をする ・その他やるべきこと)
	警戒レベル5 [緊急安全確保]	氾濫発生	(・このとき何をする ・その他やるべきこと)

厚真町土地改良区前理事長の山田英雄さんが 全国表彰を報告

厚真町土地改良区前理事長の山田英雄さんが9月8日に町長を表敬訪問し、農村振興技術連盟大賞の受賞を報告しました。

同賞は、農村の振興に功績があった個人や団体に贈られるもので、山田さんは北海道などから推薦されました。本年度は山田さんを含む12人が、9月5日に東京都内で表彰されました。山田さんは「先人の苦勞あつての受賞なので、重みを感じています」と報告すると、宮坂町長は「ご尽力のお陰で、生産基盤は強じんなものになったと思います。おめでとうございます」とたたえました。



賞状を手に受賞を報告した山田さん



感謝状を手にする高橋支店長

町が地崎道路株式会社北海道支店に 感謝状を贈る

町は9月11日、地域貢献に尽力した地崎道路株式会社北海道支店(高橋勝之取締役支店長)に感謝状を贈りました。

厚真中央小学校のグラウンドフェンスの補修や、老朽化した簡易トイレを撤去するなど、教育環境の改善に貢献しました。

令和5年度厚真町敬老会を開催

令和5年度厚真町敬老会が9月15日、4年ぶりに総合福祉センターで開かれ、216人が集って旧交を深めました。

今年度の対象は、80歳以上となる726人。百歳以上の2人に長寿祝い、米寿を迎えた10人に町から記念品などが贈られました。宮坂町長は「これからも、楽しい夢を追いかけてください」とあいさつし、来賓の渡部議長も「元気なお姿でお越しいただいたことをうれしく思います」と語りました。



百歳以上の長寿祝いを受け取った佐久間しげ子さん

浜厚真の山田耕司さんの乳牛が 日胆畜産共進会で最高位の名誉



オーシヤン・カレン・ハーゲン号

浜厚真の山田澄恵さんが繁殖した乳牛(オーシヤン・カレン・ハーゲン号)が、安平町で8月に開かれた日胆畜産共進会で出産を経験した「経産クラス」の最高位の名誉に輝き、同地区代表として9月23、24日に安平町で開かれた北海道総合畜産共進会に出品されました。

ハーゲン号は、きめ細かな育成技術によって、背筋が伸びた姿勢や健康度、体形バランスなど、総合的に高評価を得ました。山田澄恵さんは「今回の名誉は、世話を惜しまない息子夫婦への贈り物だと思います。皆さまに感謝します」と語りました。

※乳牛の名前はカタカナの小文字を使わないため「オーシヤン」となります



こどもの予防接種

接種日	未就学児	水曜日	14時～15時(この時間は一般診療休み)	予防接種専用サイト
	小学生～19歳	月・金曜日	9時～12時、14時～17時	
予約/受付接種場所	あつまクリニック ☎27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です(予約受付時間: 9時～12時、15時～17時)			
持ち物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ(保健師)までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス(1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回)27日以上あけて2回 (追加)1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)生後12～15カ月未満(初回後60日以上あけて1回)
四種混合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	生後2～90カ月未満	(初回)生後2～12カ月未満に20～56日あけて3回 (追加)初回後12～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期)生後12～24カ月まで (2期)年長児相当(就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘(水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回)生後12～15カ月未満に1回 (追加)初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ(任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自の助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期)生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期)9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回)3歳:6～28日あけて2回 (1期追加)4歳:1期初回終了後約1年あけて1回 (2期)9歳:1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (9価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生(6カ月あけて2回) ※1回目の接種が15歳を越えた場合は3回(2カ月以上あけて2回接種した後、1回目から6カ月以上あけて1回)

11月の夜間・日曜・祝日の医療機関

内科・小児科系	外科系	診療時間: 9時～17時
苦小牧市夜間休日急病センター	日程	病院名
住所 苦小牧市旭町2-9-2	3日(金祝)	アーク整形外科クリニック
電話 0144-32-0099	5日(日)	とまこまい脳神経外科
平日 19時～翌朝7時	12日(日)	同樹会苦小牧病院
診療時間 土曜日 14時～翌朝7時	19日(日)	苦小牧日翔病院
日曜祝日 9時～翌朝7時	23日(木祝)	苦小牧泌尿器科・循環器内科
	26日(日)	こうよう泌尿器科クリニック
		住所(苦小牧市) 電話(0144)
		ときわ町3-15-34 68-6111
		光洋町1-12-20 75-5111
		新中野町3-9-10 36-1221
		矢代町2-9-13 72-7000
		明野新町2-1-12 57-0455
		光洋町2-6-13 82-8620

※変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。

北海道救急医療・広域災害情報システム 近くの医療機関などが検索できます
http://www.qq.pref.hokkaido.jp ☎0120-20-8699 ☎011-221-8699(携帯・PHSから)



保健の掲示板 11月

住民課 健康推進グループ ☎26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)



健診・検診・相談・教室など

総合がん検診

対象 ①胃がん:40歳以上 ④乳がん:40歳以上の女性(昭和偶数年生まれ)
②大腸がん:40歳以上 ⑤子宮がん:20歳以上の女性(昭和偶数年生まれ・平成奇数年生まれ)
③前立腺がん:50歳以上の男性

とき 11月9日(木)、令和6年1月16日(火) ※時間等は申込者に後日通知します。

ところ 北海道対がん協会札幌がん検診センター(厚真町からの送迎あり)
※②のみの場合は、センターへの来院は不要です。

申し込み 検診実施日の1カ月前までお申し込みください。
詳細は、広報あつま9月号折込の案内チラシをご覧ください。※要事前予約

乳児健診

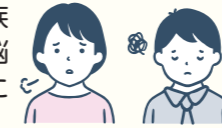
対象 ①令和5年5月24日～令和5年8月15日生まれのお子さん(生後3～6カ月)と保護者
②令和4年11月24日～令和5年2月15日生まれのお子さん(生後9～12カ月)と保護者

とき 11月15日(水) 総合ケアセンターゆくり ※個別にご案内します。

持ち物 母子健康手帳、バスタオル、アンケート、歯ブラシ(②のみ)

こころの相談

臨床心理士が、本人やご家族のこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に応じます。



とき 10月20日(金)、11月17日(金)
10時～15時(1人あたり50分程度)

ところ 総合ケアセンターゆくり

申し込み 1週間前までにお申し込みください。
(住民課 健康推進グループ)

保健所の相談

問い合わせ 苦小牧保健所 ☎0144-34-4168

相談・検査の名称	日程
女性の健康相談	11月20日(月)
妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	
肝炎ウイルス検査・梅毒検査	11月7日(火)
感染が疑われる方は無料(要事前確認)	11月21日(火)
骨髄バンク登録	要事前予約(随時受付)
登録の基準があります	
HTLV-1抗体検査	11月21日(火)
10日前までに予約してください	
HIV検査(エイズ相談)	11月7日(火)
無料、匿名検査(要事前確認)	11月21日(火)
エイズ専用電話 ☎0144-35-7474	

新型コロナワクチン

新型コロナワクチンの特例臨時接種期間が、令和6年3月31日まで延長されました。引き続き、公費(無料)で接種を受けることができます。

9月20日以降は、「令和5年秋開始接種」として、初回接種を終了した生後6カ月以上の方が対象です。

使用するワクチンは、オミクロン株対応1価ワクチンです。

対象の方には、接種時期が来た方から順次、接種券を送付しています。接種日時等は、接種券同封の案内用紙またはホームページでご確認ください。

初回接種(1・2回目接種)を希望される方で、接種券がない方は、接種券の交付申請が必要です。

厚真町へ転入された方

厚真町へ転入された方で接種券が届かない方は、接種券の交付申請手続きが必要です。



新型コロナワクチン
インターネット予約はこちらから



子育て支援センター 11月のよてい

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみに併設)
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)
※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

子育て講座 編み物講座

対象：1歳半までのお子さんがいるお母さん
内容：赤ちゃん用のどんぐり帽子を作ります
日時：11月7日(火)・14日(火) 10時～11時
場所：厚真子育て支援センター
持ち物：毛糸、かぎ針
定員：5組
申し込み：10月31日(火)まで

子育て講座 あそび講座

内容：前半：手遊び・わらべ歌・体を使った遊びほか
後半：子育てミニ講座「伝え方のポイント」
日時：11月22日(水) 10時～11時
場所：厚南子育て支援センター
定員：7組
申し込み：11月15日(水)まで

子育て講座 おはなしのびっこ&メディアミニ講座

内容：絵本の読み聞かせ、メディアに関するミニ講座や相談会
日時：11月16日(木)10時～10時45分
場所：厚南子育て支援センター
申し込み：不要

Hello えいご・えいごであそぼう

10時～10時30分
隔月、各センターで、ALTの先生と遊びを通じて英語に触れる事ができます。開催日は情報誌をご覧ください。

・自由開放 ・子育て相談(※要事前連絡)…月曜～金曜日 9時～12時、13時～15時
・サークル活動(※予約制)…月曜～金曜日 13時～15時

まちの アイドル

3歳以下のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。

〈メール〉 kikaku@town.atsuma.lg.jp



住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は8月末時点で全世帯数の92.7%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署では未設置の住宅への普及・促進に取り組んでいます。

不慮の失火を未然に防止！

掛けていたタオルが、台所の棚上に置いていた火の着いたアロマキャンドルに落下して引火した。台所近くが吹き抜けになっていて、2階廊下の住宅用火災警報器が作動した。1階にいた居住者が警報音で火災に気付き、水道水をかけて初期消火した。

住宅用火災警報器による早期発見は火災防止につながります。大切な命を守るために、住宅用火災警報器の設置・維持管理をしましょう。

今年度から厚真町に居住する65歳以上のみの世帯を対象に、住宅用火災警報器取付費用給付事業を実施しています。詳しくは、消防署厚真支署にお問い合わせください。



問い合わせ
胆振東部消防組合
消防署厚真支署
☎26-7119

健康情報

住民課健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)



担当

いのうえ ともみ
保健師 井上 朋美

今月のテーマ

知っていますか？自分に必要なエネルギー量

エネルギー(単位:cal/カロリー)は、人間の生命機能の維持や身体活動に必要で、日々生きていくために欠かせない、いわば車のガソリンのようなものです。

エネルギーは主に、食物(炭水化物、タンパク質、脂質)から摂取され、エネルギーの摂取量と消費量が一定になることが望まれます。このエネルギーバランスが崩れると、次のような変化が起こります。



摂取量>消費量→消費されなかったエネルギーは脂肪として体に蓄積され、体重が増加する。

摂取量<消費量→不足するエネルギーを補うために蓄積された脂肪がエネルギーとして使われ、体重は減少する。

現代において、摂取エネルギー過剰による肥満やさまざまな生活習慣病が特に課題となっています。健康維持や減量のためには、まず自分に必要なエネルギー量を知り、エネルギーバランスを適正に整えていくことが大切です。

計算してみよう！

必要なエネルギー量は、年齢や性別、身長、活動量などによって変わってきますが、推定値は以下の式で求めることができます。

1日あたりの推定エネルギー必要量(kcal)
基礎代謝量〔基礎代謝基準値①×標準体重②〕×身体活動レベル③

①基礎代謝基準値

	男性	女性
18～29歳	23.7	22.1
30～49歳	22.5	21.9
50～64歳	21.8	20.7
65～74歳	21.6	20.7
75歳以上	21.5	20.7

②標準体重

身長(m)×身長(m)×22

※統計的に最も病気にかかりにくいとされる体格(BMI=22)で算出します

③身体活動レベル

低い(I)	生活の大部分が座っており、静的な活動が中心	1.5 (1.4～1.6)
ふつう(II)	座位中心の仕事だが、職場内の移動や立位での作業・接客等、通勤・買い物での歩行、家事、軽いスポーツのいずれかを含む	1.75 (1.6～1.9)
高い(III)	移動や立位の多い仕事への従事者、あるいはスポーツなど、余暇における活発な運動習慣を持っている場合	2 (1.9～2.2)

例) 男性 62歳/身長170cm/活動レベルふつう▷標準体重=1.7×1.7×22=63.6
推定エネルギー必要量=21.8×63.6×1.75=2,426kcal (1食あたり809kcal)

エネルギー量
おおよその目安

必要なエネルギー量がわかったら、普段の摂取・消費エネルギーはどうか振り返ってみてください。

過不足が起きている場合は、食事や活動・運動でエネルギーのバランスを整え、健康な体を目指しましょう。

消費エネルギー

※体重60kg、20分の場合
普通歩行…65kcal
軽い体操…50kcal
草むしり…50kcal
ジョギング…150kcal

摂取エネルギー

ごはん1杯(180g)…300kcal
カップラーメン…400～600kcal
幕の内弁当…600～800kcal
ポテトチップス1袋(60g)…340kcal
メロンパン…500kcal
クッキー1枚…50kcal
バニラアイス(110ml)…230kcal
スポーツドリンク(500ml)…100kcal



■学校いじめ防止基本方針改訂 (8月16日)

北海道いじめ防止基本方針がこのたび改定され、本校の「学校いじめ防止基本方針」を点検・見直ししました。生徒たちが意欲を持って充実した高校生活を送れるよういじめ防止に向け、日常の指導体制を定め、未然防止を図りながら早期発見に取り組みます。いじめの要因や内容、校内研修の実施などを変更しました。地域住民の皆さまから容易に確認できるようにホームページ(「生徒保護者への連絡」ページ)に掲載しています。

■北海道シエイクアウト訓練 (9月6日)

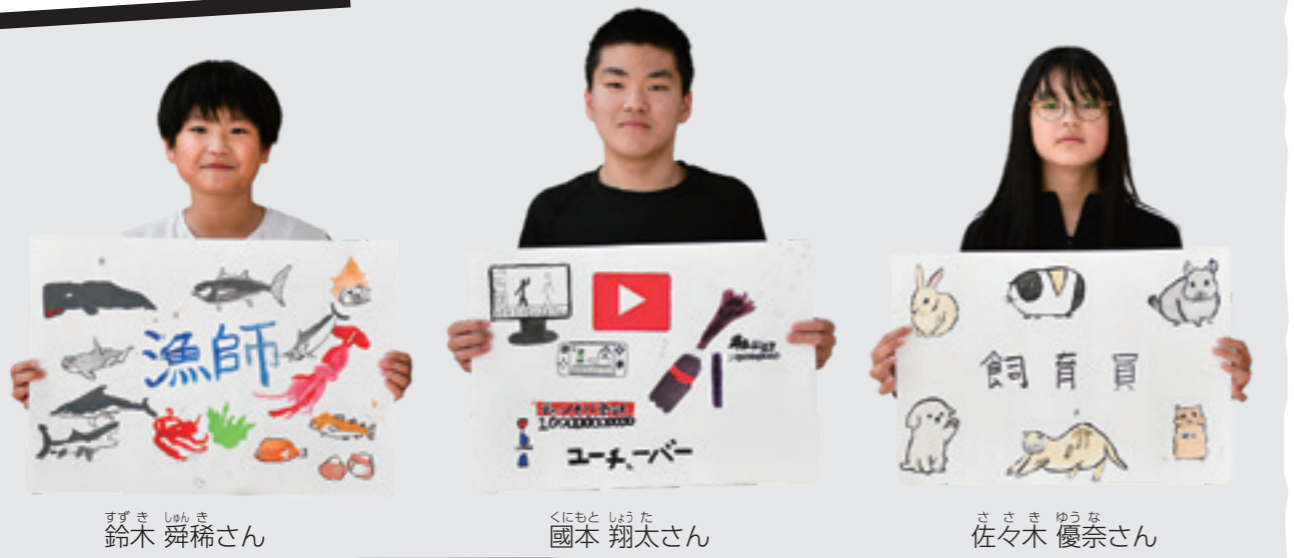
本校では、毎年欠かさず一般参加型の「北海道シエイクアウト」訓練に参加しています。関東大震災から100年、胆振東部地震から5年を迎えた今年の訓練は、大規模な地震が発生し、北海道全域で大きな揺れを感じたという想定。校内放送で①DROPP(まず低く)②COVER(頭を守り)③HOLD ON(動かない)を示すと、全校生徒は迅速に行動に移しました。防災リテラシーの向上を目指して、取り組みを継続していきます。



夏休み明け全校集会

上厚真小学校6年

発表します!
将来の夢



鈴木 舜稀さん

國本 翔太さん

佐々木 優奈さん

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します!

現在活動している協力隊(8月末現在)

農業▷9人 教育魅力化▷3人 スポーツ▷1人
 起業型▷11人 協働型▷13人 福祉▷1人

福祉支援員
 しまくら かい
島倉 權さん

着任: 令和5年4月(1年目)
 出身: 羅臼町



—これまでの経歴を教えてください。

大学で地域福祉を学んだ後、豊富町役場に社会福祉士として就職しました。介護の現場を知らずにさまざまな相談を受けることに疑問を感じて1年で退職し、現場を学ぶため札幌市の有料老人ホームで3年半働き、介護福祉士の資格を取得しました。その後、北見市社会福祉協議会で5年半、経験を積みました。

—着任後、厚真町ではどのようなことをしていますか?

町社会福祉協議会に所属して、要支援者の方を訪問し個別避難計画を作成するほか、各地区のサロンの運営や支援、住民懇談会の開催などを行っています。以前、体験した農業にも興味があります。1次産業が盛んですから、空き時間は農家さんのお手伝いを通じて地域のことを学んでいます。福祉に必要な情報も得られるので、町社会福祉協議会の方と情報を共有して見回り活動に生か

しています。福祉と農業を組み合わせ、新しいことはできないか思案中です。

—8月19日に行われた「ならやまマルシェ」でも出店していましたね。

健康や生活の質の向上につなげる取り組みとして、お世話になっている農家さん7人からさまざまな野菜を提供してもらい出店しました。購入の際、応援のメッセージを書いてもらい、それを農家さんにフィードバックしました。予想以上に反響があり、たくさんメッセージをいただけて、生産者の方に喜んでいただきました。私も嬉しかったです。

—厚真の印象は?

住民同士の結びつきが強く、誰かが困っていると放っておけない方がたくさんいらっしゃるの、地域力がすごく高いですね。温かく受け入れてくださる方ばかりで、いろんなことに挑戦させてくれるので、厚真町に来てからよく笑うようになったと思います。

—3年後の目標は?

さまざまな世代が集う居場所を作りたいですね。マルシェの経験が、ヒントになりました。例えば農業を通じて子どもも高齢者も一緒にお話したり、作物を持ち寄って家庭料理を作って楽しむサロンなど。人のつながりを大切にしたい活動を行いたいと思います。

魅力的な生活

「魅力的な高校って何だろう」という素朴な疑問から始まった高校魅力化プロジェクト。当初の高校生活の充実という視点は、厚高生が「地域と共に魅力を創出」という視点に変わり、発展的に変化しています。地域住民の理解と協力も広がりました。

8月19日に「よりみち学舎プレゼンツ あつまで科学館」という地域住民向けのイベントを開きました。科学館の無い厚真町で、気軽に実験を体験してもらう催しです。いくつか用意した実験の中で、厚高生は「巨大シャボン玉に入ろう」と「動くスライムづくり」を担当しました。

巨大シャボン玉では、シャボン玉の中に入っていた子どもたちが、大きなシャボン玉作りに挑戦しました。すぐに割れてしまう子どもたちに対し、力加減などを調整しながら大きなシャボン玉を作る厚高生は、子どもたちの尊敬の的です。大きく作るコツを伝える光景は、授業さながらでした。また、砂鉄の配合を変えたスライムを作り、磁石を使って動きの違いを比べた実験では、子どもたちと一緒に一喜一憂しました。

今年は、学校や塾から地域へ出向く機会が多くなり、屋外で活動していると地域住民に声を掛けられるようになりました。学校生活に加えて地域社会とのかかわりが、厚高生たちの充実感を育んでいます。変化する「よりみち学舎」の今後が楽しみです。

教育魅力化支援員 山中 卓也



巨大シャボン玉に包まれる小学生

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。

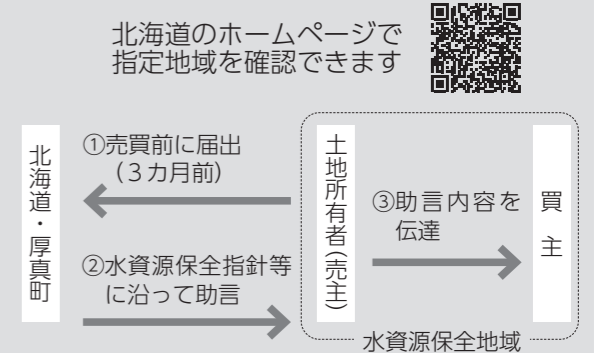
自衛官募集 問い合わせ 自衛隊札幌地方協力本部苫小牧出張所 ☎0144-32-3725

- 自衛官候補生(第4回試験)
 - 応募資格▶18歳以上33歳未満(32歳は要連絡)
 - 受付期間▶11月9日(木)まで(締切日必着)
 - 試験日程▶11月17日(金)~20日(月)のいずれか1日
 - 試験科目▶筆記試験(国語・数学・社会・作文・適性検査)
 - 述試験・身体検査
- 防衛大学校学生(一般)
 - 応募資格▶18歳以上21歳未満
 - 受付期間▶10月18日(水)(締切日必着)
 - 試験日程▶10月28日(土)
 - 試験科目▶筆記試験(理工学:英語・数学・理科・人文・社会科学:国語・英語・数学・社会)
- 一般曹候補生(第3回試験)
 - 応募資格▶18歳以上33歳未満(32歳は要連絡)
 - 受付期間▶11月30日(木)まで(締切日必着)
 - 試験日程▶12月9日(土)~14日(木)のいずれか1日
 - 試験科目▶筆記試験(国語・数学・英語・作文・適性検査)
- 高等工科学校生
 - 応募資格▶15歳以上17歳未満
 - 受付期間▶令和6年1月5日(金)まで(締切日必着)
 - 試験日程▶1月13日(土)か14日(日)のいずれか1日
 - 試験科目▶筆記試験(国語・数学・英語・社会・理科・作文)

水資源保全地域内の土地取引行為に係る事前届出について

北海道では、平成24年度に全国に先駆けて「北海道水資源の保全に関する条例」を制定しました。この条例は、水資源の保全に関する施策を総合的に推進し、本道の豊かな水資源がもたらす恩恵を現在と将来の世代が享受できるよう、道民の総意として制定したものです。

土地の所有者が水資源保全地域に指定された区域内で土地取引行為を行う場合は、本条例に基づき、契約締結の3カ月前までに知事への届出が必要です。



問い合わせ 北海道総合政策部計画局土地水対策課水資源保全係 ☎011-204-5178

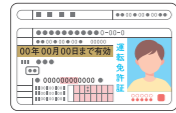
こぶしの湯あつま イベントカレンダー11月

日	月	火	水	木	金	土
			1 [2倍] 高齢者券	2 [3倍] レディース	3	4
5 ちびっこ	6 [3倍] ちびっこ	7 メンズ	8 高齢者券	9 レディース	10	11
12 [3倍] ちびっこ	13 シルバー	14 メンズ	15 [2倍] 高齢者券	16 [3倍] レディース	17	18
19 ちびっこ	20 シルバー	21 メンズ	22 [3倍] 高齢者券	23 レディース	24 [2倍] 町民の日	25
26 [3倍] 風呂の日	27 シルバー	28 メンズ	29 高齢者券	30 レディース		

- 毎週日曜 ちびっこデー▶小学生はスタンプ2個
- 毎週月曜 シルバーデー▶65歳以上はポイント3倍
- 毎週火曜 メンズデー▶男性はスタンプ2個
- 毎週水曜 高齢者無料入浴券の日
▶町交付の無料券利用でレストランのヘルシーセットが770円→570円
- 毎週木曜 レディースデー▶女性はスタンプ2個
- 最終金曜 町民の日
▶誕生月の町民はレストラン利用で入浴無料
- 毎月26日 風呂の日▶町民は入浴無料
町内在住が確認できる身分証明書等の提示が必要
※対象外はポイント3倍、スタンプ2個
- 2と6のつく日▶ポイント3倍
- 5のつく日▶町交付の無料券利用でポイント5倍

問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126 ※イベントは予告なく変更することがあります。

運転免許証更新時講習



11月

苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。この他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

10時30分~11時
1日(水)、7日(火)、9日(木)、10日(金) 14日(火)、16日(木)、20日(月)、21日(火) 24日(金)、29日(水)、30日(木)
13時30分~14時
8日(水)、17日(金)、22日(水)、28日(火)

(一社)苫小牧地区交通安全協会 ☎0144-33-1458

町税・保険料 今月の納期

科目	町道民税(第2期)
	介護保険料(第3期)
納期	10月31日(火)

問い合わせ
住民課 税務グループ ☎26-7871
住民課 福祉グループ ☎26-7872

まちの善意



て広く国民に理解していただくために、秋の行政相談週間(10月16日~22日)を設けています。

行政相談とは、皆さんから国の行政機関や特殊法人(JR、NTT、郵便局など)などに対する苦情や要望などを、行政相談委員が公平な第三者の立場で問題解決のお手伝いをし、行政の改善に役立てるものです。次の日程で巡回行政相談所を開設します。相談は無料で、秘密は守られます。悩みや苦情を抱えている方は、ご相談ください。

■日時・会場
10月17日(火)
▽総合福祉センター 10時~12時
▽厚南会館 13時30分~15時30分

■相談員 行政相談委員 當田昭則(本郷・)

☎27-2020(問) 2322(総務課総務人事グループ)

■女性の権利ホットライン
法務省および全国人権擁護委員連合会では、夫やパートナーからの暴力やストーカーなど、女性の権利に関する悩みや心配ごとなどを解決するため、専用相談電話「女性の権利ホットライン」を設置しています。今年、11月15日(水)~21日(火)を全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間とし、相談時間を延長して特設電話相談所を開設します。女性の権利に関する悩みや心配ごとでお困りの方は、お気軽にご相談ください。

■女性の権利ホットライン ☎0570-070-810(全国共通ナビダイヤル)

■受付時間
通常:平日8時30分~17時15分、強化期間中:平日8時30分~19時、土曜・日曜日10時~17時

■東胆振精神保健大会を開催します
東胆振精神保険協会は、苫小牧市民会館で東胆振精神保健大会を開催します。表彰や講演、授産製品の販売や作品展示を行います。入場は無料です。

■日時
11月4日(土)13時30分~15時30分

■場所
苫小牧市民会館3階小ホール

■内容

おわびと訂正

広報あつま9月号中に誤りがありました。訂正しておわびいたします。

- 地震特集4頁「育む」の写真説明
【誤】遠藤悠馬さん
【正】遠藤悠真さん
- ATSUMA LOVERS 前書き
【誤】蹴上さん
【正】蹴場さん

第一部:東胆振精神保健事業功者・心のアート展受賞者の表彰、第二部:精神科医の講演、展示:精神障がい者授産施設などによる授産製品の販売と心のアート展2023入賞作品の展示

みんなチエック! 北海道最低賃金
北海道内の事業場で働くすべての労働者(会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人)およびその使用者に適用される北海道最低賃金が次の通り改訂されました。

■最低賃金額
時間額960円

■効力発生年月
10月1日(日)

※最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金および時間外等割り増し賃金は算入されません。

※最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。

※特定の産業(「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」)で働く方には北海道の特定(産業別)最低賃金が適用されます。

■問い合わせ
北海道労働局労働基準部賃金室(☎011-709-2311、内線3533)

巡回行政相談所を開設します
総務省では、行政相談制度について

ハロウィンジャンボ5億円
(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ5千万円
(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまらづくりに使われます。

各1枚300円
9月20日*2種類同時発売!
発売期間 9/20(水)~10/20(金)
公益財団法人北海道市町村振興協会



厚真中学校3年
おおがき たから
大垣 尊良さん

愛媛県総合運動公園陸上競技場で8月22日に開かれた「第50回全日本中学校陸上競技選手権大会」の男子砲丸投げ(5kg)で、大垣尊良さんは出場選手50人中、唯一16mを越える快投をみせ、初の全国優勝という快挙を成し遂げました。町スポーツセンターで、大会を振り返ってもらいました。

全日本中学校陸上競技の砲丸投げで全国優勝

大垣さんは、父親譲りの「回転投法」です。重心の位置や回転速度などを変えながら、黙々と練習に打ち込み、投げた感覚より距離が出なかったときは、すぐに自己分析して投法を修正します。「余分な力が入ると、距離は出ませんが、安定して距離が出せる投げ方、記録を狙う投げ方など、コンディションと相談しながら工夫しています」。指導者からは「修正能力が高い」と太鼓判を押され、練習で培われた自信が記録に結びついています。「自分でいうのもなんですが、精神的な強さが長所だと思います」。

大会直前、何度も同じ夢を見ました。湧き上がる手拍子に合わせて投てきし、優勝する夢です。夢は正夢になりました。1投目で2位に69cmの差をつけてトップに立った大垣さんは、3投目に勝負に出ました。「夢と同じだ」。観客に向かって手拍子を求め、リズムが刻まれました。客席では、両親が見つめて

います。1投目より重心を低くして回転スピードを上げ、力を込めました。16m53。大会記録まで19cmに迫る記録です。その後、日本中学記録(17m85)の更新に挑みましたが、力が入り記録は伸びませんでした。

大会終了後、厚真中学校のグラウンドですぐに練習を始めました。10月に控える3つの大会に備えるためです。「何としても、日本中学記録を塗り替えた」。新たな目標達成のために、努力を惜しみません。

練習がきつくて嫌だった砲丸投げが、今では大好きです。「競技を通じて人の輪が広がり、自分を磨いてくれます。積極的に意見が言えるのも、砲丸投げのお陰だと思っています」と、照れ笑いを浮かべました。

来春、厚真高校に進学して、競技を続ける予定です。「両親をはじめ、支えてくれているすべての人に恩返しするために、今後も自分を高めていきます」。